

タットン会 通信

2005.10.15

今年度のタットン会は、独立行政法人福祉医療機構（障害者スポーツ支援基金）からの助成金交付も受けながら活動しています。より多くの方々と共に障がいに対する理解を深めていきたいと思っています。

- ◎ タットン会ホームページ <http://www.geocities.jp/tattonkai/>
- ◎ 日時・場所についての確認のみ → ボランティアセンター 046(825)0017

第38回目のタットン会はサブアリーナで行なわれ、ボランティアさんの初参加者10数名を含めて約80名の参加でした。

初めて参加されたボランティアさんが「運動は苦手だ～」と言いながらも、子どもたちと一緒に汗をかいている姿はとてもさわやかに見えました。

手話コーナーには「手話を覚えて貰おう」と意欲満々で来て下さった石堂さんが登場。今回は「あいうえお」の手話でした。さて～覚えられたでしょうか？今まで「おはようございます・また会いましょう・ごめんなさい・暑い…」等を教えて頂きました。手話もきちんと研修に入れていくたいところですが、もりだくさんのプログラムの中に定着させ、定期的に実施していくことの難しさを感じています。

継続していく中での心配事！？ 今、一番の心配事は活動場所の確保です。来月11月17日のタットン会会場はサブアリーナに決定しておりますが、12月・1月・2月・3月は未定です。

可能ならば年間を通して確実に借用でき、卓球とバドミントンが安全に出来る施設を確保したいところですが、それは難しく頭が痛いところです。施設への交通手段によっても参加人数が増減しますが、中学校の体育館では明らかに狭く危険も伴ってきます。今のところ良い方法はなく、このままの形で行くしかないのが現状です。

申し訳ありませんが12月以降の場所については、次回のタットン会通信NO39かホームページ、またはボランティアセンターに確認して下さるようお願いいたします。

お子様記録カード・感想より 今日やったこと・気付いたこと

※1 マシーンで卓球の打ち込みや二人で打ち合いもやりましたが、卓球マシーンの球拾いをとても熱心にやっていました。マシーンを操作するときも「5・4・3・2・1と、言ったら球が出るよ！」と親切に操作している姿に感心しました。～他人に配慮をしながらの自己主張に感心しました。（Tさん）

※2 卓球をやりました。思っていたよりも上手で、自分はいっぱいいっぱいで大変でした。（初参加ボラNさん、有り難うございました）

※3 途中からバドミントンに変りました～シャトルを構えると、手を少し上げ面を上にしてくれました。1回目は42回やって1分休憩、2回目は45回で1分休憩、3回目は70回～。1分間の休憩をきっちり守り、70回も動きに集中できてすごいと思いました。（Nボラさんの毎回の配慮、勉強になります！）

※4 ～僕が失敗すると、両手を挙げて喜んでいました。下からのサーブを練習、一度ラケットとシャトルをく



つづけてからサーブをすると当たるようです。まだ、ネットをはさんでは出来ませんが上達しています。スマップのキムタクが大好きみたいです。話をふると喜びます。(A・Yさん)

障がい児・者の

進路と余暇を考える

パート：1

以前から思っていることですが、障がいがある方々の進路はとても厳しい現状があります。また、成人になり社会に出たときの余暇についても、健常の方々とは違い何もかも思うようにならないことが多いと思います。運良く今年の5月～7月にかけて、宮城県や埼玉県等にも足を運び、作業所や更生施設等を見学させていただきました。

そこでは、重度障がいがあるにも関わらず立派に社会人として仕事を持ち、生き生きと働いている姿に出会いました。しかし、それはほんのひとにぎりの枠にしか過ぎないのが現状だと思います。また、余暇支援も話題になりました。大きな課題として考えていくことの一つであり、余暇を広げるには成人してからでは遅く、幼い頃からの多くの経験が必要とのことでした。

支援者も、どうすればもっと多くの障がいがある方々も働けて、自立に向けグループホーム等の支援を広げて行くのか？ 余暇支援をもっと広げていきたい！…等、真剣に親亡き後の子の将来を考えておりました。

また、重度障がいがある長男を持つある新聞記者の方は、「～取り返しがつかないような事が起こらないためにも、色々な障がい児・者がいることを、もっと多くの人に知って貰う事が重要だと思います。我々の子供達が安心して地域で楽しい人生を送れるように、福祉の中だけでなく福祉の外側もみんなで耕していくたいと思います。」と語っていました。いつの間にかタットン会も、障がい児が障がい者になっています。4年前の高校生は二十歳を過ぎました。

第39回タットン会 ~ 本日 10月15日の流れ 於 県立保健福祉大学

9：00～ 準備・受付

9：30 本日の説明 ペアになって、カード読み・聞き取り 自己紹介・握手をしよう！

体操（ディズニー or ラジオ体操）、

各種目へ（持続回数に挑戦など）

10：20 休憩

10：40～ 後半の部開始 試合をやりましょう！

11：10頃 パラシュート みんなで一緒に！

11：20頃 片づけ・モップ、集合隊形に（手話コーナー）・けがの確認（研修会）

11：40頃 解散です！



お知らせ
※1 先月NO37でもお知らせしました「“KANAGAWA” 福祉タイムズ」が送られてきました。別資料にてご紹介いたします。

※2 と一緒に楽しんで下さる事務局・

ボランティアさんは、いつでも募集中です！

《 4年目 2005年度の活動予定 》

10月15日（土） 県立保健福祉大学決定（本日） 2005年 1月21日又は28日 未定

11月19日（土） サブアリーナ決定（研修会 4） 2月18日又は25日 未定

12月17日（土） 県立保健福祉大（第4回タットン大会）予定 3月18日又は25日 未定